

『地域懇談会』多古第一地区

11月16日、役場大会議室を会場に『多古第一地区懇談会』が開かれ、55人が参加。町長が主要施策を説明した後、提案テーマに基づく意見交換がおこなわれました。今回の懇談会の一部ですが、主な質疑応答・意見交換の要旨をお伝えします。



●提案等に関する意見交換 多古台開発の計画は？

質問◆住宅団地開発計画が白紙になり、町に無償譲渡された多古台の基本的な開発方向は？

町長●今年度は、盛土してあった土の整地を行い、また芝などの種子を吹き付け、砂ぼこりの飛散防止を図っています。今後の土地利用については次年度以降、具体的な計画を検討していきます。また、大宮大神への進入路等の復旧についても、地元の不便にならないような形にしたいと考えています。

土地利用を検討する上で、区域内に数多く存在する農地の取り扱いが、問題となっています。さらに、この区域は国土調査を行っていないため、地籍の特定が難しいという課題もあり、都市計画道路を築いた上で地籍特定を行う方向で、法務局と協議を重ねているところです。また、現在は都市計画の

用途地域が定められています。検討の結果の用途が、これと違うものになった場合は、その変更手続に数年を要することも考えられます。民間の力を借りて開発する方法も検討材料のひとつとして必要なかどうかなども、十分吟味しながら、作業を進めてまいります。皆さんには、随時経過を提示していきたいと思えます。



粗造成と、芝などの種子吹き付けが終了した多古台

トーホークリーンの 産廃処理施設の開発計画は？

質問◆トーホークリーンの産廃廃棄物処理施設の開発計画は、現在どうなっているのか？

町長●地域振興課長●トーホークリーンという企業は、染井地区に倉庫を建てるとして隣接の同意を得ながら用地を買収し、平成2年、宅地開発に係る県の確認を受けています。

その後、企業側はこの計画を変更し、平成13年に焼却炉を伴う産廃処理施設に係る事前協議(宅地開発の申請とは別の手続き)ということで、初めて地元の説明をしたわけです。これに対する地元の反対運動を受けて、町も動いてまいりました。しかし県では、書類が整え



ば受けざるを得ないとのことで、事前協議の終了宣言が出されました。

その後、産廃の許可申請が出され、町は正式に全面的反対の意思表示をし、町議会からも反対の意見書を出していただき、県と協議を続けてまいりました。またその間、計画隣接地に地域の皆さんが桜宮自然公園を創りあげてくださったおかげで「自然の豊かな場所なんだ」と、県への訴えを続けることができました。しかし、企業側は計画を取り下げず、現在に至っています。

最近、宅地開発の関係で「倉庫から産廃処理施設へ変更するために必要となる変更申請を出したい」と企業側から若干の相談もありました。万一、この申請書類が出たとしても「町も町民もすべてが反対。容認できない」ということで、例え行政訴訟になったとしても、話し合いも申請書類の受付も断固拒否する



ことを、町は決定しております。さらに県に対しても、不許可とするよう引き続き強く要請してまいります。

町内の空き店舗対策は？

提案◆商店街の空き店舗問題は、町が活性化しないと無くなると思う。取り組みを始めた仲町での実情と、皆さんのアイデアを聞きたい。

仲町区長さん●「商店は何もしなくていいのか」という発想から、空き店舗対策として9月に『ギャラリーなかまち』をオープンし、商工会などの支援を受けながら運営してきました。しかし、人的労力や財政面の問題、集客面でも苦慮しています。皆さんに、広く気軽に



利用してもらえたらと思っています。

町長●仲町でのギャラリー展開は心強い限りです。皆さんの自発的な発想を、さらに加えていっていただきたいと願っています。また現在、道の駅に来るお客様などから「昼前後に食事する場所が十分でない。食事処マップなどを作って街中に呼ぶ込む方法は無いのか」という指摘もありますので、商工会を中心にご検討いただき、具体的な対策が取ればと期待しています。

提案者●所有者の賛同が得られればだが、老朽化した空き店舗(空き住宅を含む)を解体し、町に補助してもらって駐車場を整備したらどうか？

町長●空き住宅等については、ほとんどの方が手を加えてもらいたくないという思いがあるようです。いずれにしても、何らかの空き店舗対策は必要です。商工会にリードを願いながら、町も努力したいと思えます。

参加者●道の駅のお客さんを、現在の商店街に向けるのは難しいと思う。国道296号など、道の駅を中心に考えた位置に、新たな商店街を配置したらどうか？行政でリードしてもらいたい。

町長●新しい商店街を造るという考え方も持つべきだという意見ももっともであり、行政として検討を加えさせていただきますかと思えますが、すぐに

答えの出る内容ではありませんので、お時間をいただきたいと思えます。

参加者●ギャラリーなかまちに関連して、ギャラリーへの出展をお願いしている中で、多古町は文化について評価されていないと聞く。「広報たこもスポーツで活躍している人」に比べ、文化面で活躍する人に対する配慮がないのでは？

町長●多古は昔から文化、教育の町といわれています。町民の皆様が知っているだけで、周知に努めていきます。

副町長●「広報たこ」の紙面づくりに対する貴重なご意見としてお受けします。広報編集委員会等でも議論した上で、文化面の充実にも努めていきます。

『地域懇談会』—今後の予定—

地区名	日時・会場
多古第二地区	平成20年1月12日(土) 午後2時～ 多古第二小学校体育館
中地区	平成20年1月18日(金) 午後7時～ 中村小学校体育館

※常磐地区は9月29日、多古第三地区は10月26日に実施。11月29日に開催した久賀地区懇談会の概要については、広報たこ2月号に掲載する予定です。

■お問い合わせ 総務課庶務係 ☎76-2611